

桃山台留守家庭児童育成室運営業務委託事業者評価シート（令和6年度）

1 育成室の概要

（1）児童数・教室数（令和7年3月1日時点）

児童数 182 人（うち配慮を要する児童 10 人）						教室数
内訳	1 年	2 年	3 年	4 年	5・6 年	5 教室
	58 人	53 人	41 人	29 人	1 人	

（2）受託事業者

社会福祉法人耀き福祉会（契約期間：令和3年4月～令和8年3月）

2 運営状況に対する評価

	評価項目・視点	評価点 (0～3)
1	児童との関わりについて ・指導員と児童との関係づくり、信頼関係構築など	3
2	保育内容について ・集団遊び等による自主性や社会性を培う取組など	3
3	運営体制について ・指導員の配置、知識・経験など	3
4	育成室環境について ・生活空間の確保、衛生環境など	3
5	おやつ提供について ・栄養バランスの配慮やアレルギー対応など	3
6	学習活動について ・宿題等の取組のためのスペース確保など	2
7	保護者・学校との連携について ・保護者や教職員との情報交換など	3
8	配慮を要する児童（障がいや有する児童）の保育について ・児童の発達段階に応じた適切な人員配置など	2

3 総合評価（所見）

- ①全体として、仕様書の内容を高い水準で履行し、事業目的を踏まえた保育や運営が良好に行われており、児童の健全育成に大きく貢献している。
- ②保護者アンケートの「育成室を安心して利用することができている」や「保護者との連携、保護者への情報提供の頻度・内容について（連絡帳、おたより、学級懇談会など）」の設問では、肯定的な回答がいずれも約97%以上と非常に高い割合である。
- ③保護者との情報共有ツールとして入退室管理アプリを導入することにより、双方で確認できるようにしていることのほか、電話やお迎えのときに直接伝えることを大切にしていること、また日々の小さな怪我なども状況が伝わりやすいように写真などを添付するなどの心掛け等が上記の育成室利用の安心感や保護者連携等に寄与していることが見てとれる。